

報道関係者 各位

平成24年7月13日 日本科学未来館

「世界市民会議 World Wide Views」の日本における実施 および関連イベントの開催について

日本科学未来館(略称:未来館、館長:毛利 衛、所在地:東京都江東区青海)は、今秋「世界市民会議 World Wide Views ～生物多様性を考える」の日本における会議を主催するとともに、関連イベントを開催します。

今年10月、インドで生物多様性条約第11回締約国会議(COP11)が開催され、生物全般の保全に関する取り組みが多国間で議論されます。このCOP11に向けて、交渉にあたる各国の政府関係者に世界中の市民の声を届けることを目的として開催されるのが「世界市民会議 World Wide Views」(略称:WWViews)です。

WWViewsとはデンマーク技術委員会が企画するプロジェクトで、世界各国において同じ日に、同じ情報資料に基づいて議論・投票を行い、市民の意見を表明する世界的な取り組みです。今回は20を超える国と地域で同時開催され、COP11 で交渉される論点について議論を行います。

未来館は、WWViewsの日本におけるナショナルパートナーとして、9月15日(土)にプラザ平成 国際交流会議場(東京都江東区青海)にて市民100名を集めた会議を主催します。また、COP11が開催される期間にあわせて、生物多様性への理解を深めるための関連イベントを館内で実施します。(詳細は次頁参照)

なお、未来館ではWWViews実施後に、この会議手法を生物多様性のみならず、さまざまなテーマに応用していく予定です。科学技術をとりまくいろいろな課題に対して、多様な意見や知識を持つ人々が参画し、未来社会のあり方を考える効果的な対話の場をつくりだしていくことを目指します。

「世界市民会議 World Wide Views ～生物多様性を考える」概要

開催日時 平成24年9月15日(土) 10:00～18:15

開催場所 プラザ平成 国際交流会議場(住所:東京都江東区青海2-2-1)

参加者 100名(招待制)

主催 日本科学未来館

アドバイザー 磯崎博司(上智大学大学院地球環境学研究科 教授)、佐藤哲(総合地球環境学研究所 教授)

実施協力 三上直之(北海道大学高等教育推進機構 准教授)、八木絵香(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター 准教授)

※会議参加者100名は、全国の人口分布などに配慮して事前に抽出し招待いたします。一般募集は行いません。

※招待者以外も会議の傍聴は可能ですが、会議の多くは少人数グループごとの議論のため、十分に聞き取れない可能性があります。詳しくはお問い合わせください。

※「世界市民会議 World Wide Views」特設サイトについては、8月初旬に公開予定です。

一般からのお問い合わせ先	このリリースに関するお問い合わせ先
日本科学未来館 TEL:03-3570-9151 FAX:03-3570-9150 URL http://www.miraikan.jst.go.jp	日本科学未来館 事業推進課 プロモーション担当 (press@miraikan.jst.go.jp) 〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 TEL:03-3570-9192 FAX:03-3570-9150

[関連イベント]

サイエンティスト・トーク「生物多様性の恵み ～コケが水を浄化する」

私たち人間の暮らしは、ありとあらゆる分野で生物多様性の恵みに支えられています。衣食住だけではなく、たとえば、医薬品の開発なども、生物のさまざまな性質の違いをうまく利用することで大きく進展してきました。本イベントでは、小さなコケが水中の金属を浄化する研究を通して、多様な生き物がいることの意味や重要性を考えます。

開催日時 平成24年9月29日(土) 15:00～16:00
開催場所 日本科学未来館 3階 実験工房
講師 井藤賀操(理化学研究所 植物科学研究センター 上級研究員)
定員 40名
参加方法 事前申し込み不要、当日先着順
参加費 日本科学未来館入館料(大人600円)のみ
主催 日本科学未来館

サイエンティスト・トーク「結果報告！ 生物多様性COP11で暮らしの何が変わる？」

生物多様性条約第11回締約国会議(COP11)では何を決めるのでしょうか。「愛知目標」への達成度や、名古屋議定書の「遺伝資源へのアクセスと利益配分のルール」は現在どうなっているのでしょうか。

COP11の閉幕直後に開催する本イベントでは、COP11で何が決まり、これからの私たちの暮らしにどんな影響があるのか、国際環境政策の専門家が答えます。

開催日時 平成24年10月27日(土) 15:00～16:00
開催場所 日本科学未来館 3階 実験工房
講師 磯崎博司(上智大学大学院地球環境学研究科 教授)
定員 40名
参加方法 事前申し込み不要、当日先着順
参加費 日本科学未来館入館料(大人600円)のみ
主催 日本科学未来館

[参考]

生物多様性条約第11回締約国会議(COP11)

1992年、ブラジルで開かれた国連環境開発会議において「生物の多様性に関する条約」(生物多様性条約)が採択されました。以降、熱帯雨林の急激な減少、種の絶滅の進行や人類存続に欠かせない生物資源消失の危機などに対して、生物全般の保全に関する国際的な枠組みを設けるために会議を開催しています。前回のCOP10は、日本を議長国として2010年に名古屋で開催されました。

デンマーク技術委員会

科学技術に関わる社会的課題について、専門家や市民の参加を得ながら政府とは独立の立場で調査や評価を行う、デンマークのテクノロジーアセスメント機関。1980年代から「コンセンサス会議」などの様々な市民参加型会議手法を行い、科学技術への市民参加の分野で世界を先導してきました。世界市民会議World Wide Viewsの開催は、2009年に気候変動枠組条約締約国会議(COP15)に向け開催したのに続き、今回が2回目となります。

参考URL World Wide Views on Biodiversity(英語) <http://biodiversity.worldviews.org/>